

閉塾にあたりー理事からのメッセージー



塾長 渡邊 隆 (設立～現在)

上越教育大学 学長 (H15.4～22.3)

新潟県立看護大学 学長 (H22.4～29.3)

学校法人 関根学園 理事長 (H29.4～現在)

とにかくあっという間の10年でした。NPO法人;シブヤ大学の学長左京さんをお呼びして開催した設立記念フォーラムはとても印象的でした。多くの街のNPO関係の方々が参加してくださり会場の看護大学の200名の会場は満杯でした。

シブヤ大学を1つのモデルとして「上越の元気を探る」というのが当初のねらいでした。シブヤ大学;学長の左京さんの講演で盛り上がり、スタートは上々でした。それから街の宝物探しを始めました。第一回目は池田稔、宮越光昭氏のお二人におんぶに抱っここの塾を開催し、これも好評でした。そこで出てきた多くの話題がこの塾の方向性を作ってくれました。街の手工業だったバテンレースや味噌、醤油とお酒、くびき鉄道、関川の水力発電と次々と話題がつながっていき10年を経過しました。

最後の締めとして「人口減少問題」を取り上げ「未来カレンダー」への挑戦を行ったのですが、新型コロナの影響でイベント開催が思うようにならず、静かな幕引きとなってしまったのが残念です。

しかし、これまでの10年間で作り上げてきた「上越の宝物探し」はこれからも残る財産です。ご協力いただいた市民の皆様とこの運営を支えて下さった理事の皆様にご心より感謝いたします。塾長として、こんな満足な気持ちはこれまでないものです。ありがとうございました。



副学長 平澤 則子 (H29.4～現在)

新潟県立看護大学 看護学部長 (H27.4～R3.3)

新潟県立看護大学 副学長 (R3.4～現在)

「第1回キックオフシンポジウム」(2006年5月)にこっそり参加したのが懐かしく思い出されま。2015年に理事長からのお誘いを受け、この「上越はつらつ元気塾」の仲間に入れていただきました。元気塾の活動は、上越の地域資源に光をあて、それが人々の元気になり地域活性化に役立つことを示していると思います。最後に取り上げたテーマは人口減少を負の影響とせず上越の「未来カレンダー」を描くことでした。子育てと農業を取り上げたワークショップで語られた未来は、上越にある地域資源を最大限に活かすためにチャレンジし続けた先にある姿だと思いました。

私は保健師教育を担当しています。今年は、妙高市川上地区を訪れ、世界かんがい施設遺産である上江用水路のお話を伺いました。川上地区は水源地周辺をウォーキングマップにおこし、地域ぐるみでウォーキングに取り組んでいます。私が元気塾で学んだ姿がそこにありました。元気塾さん、ありがとうございました。



理事 齋藤 祐介 (R2.4～現在)
新潟日報社 上越支社長 (R2.4～現在)

新型コロナウイルスの感染拡大以降、元気塾に入った新参メンバーです。解散に向けた準備に関わり、10年以上に及ぶ取り組みを振り返ることができました。

私の参加枠(所属)は新潟日報社上越支社です。元気塾の歴代日報メンバーをみると、当地への熱い思いが伝わってきます。転勤で偶然居合わせたことから、地域に活力をもたらす元気の素を掘り出す役割にのめり込んだ様子がうかがえます。

ことし4月29日に上越市発足50年を迎え、新潟日報は座談会を企画しました。出席者の一人がこんな趣旨の発言をされました。「雪に閉ざされる冬はこもりの季節。先祖は雪と共存し、火焰型土器や玉造りの文化が生まれ、こもりの中からバテンレースなどの芸術、文化が育まれた。芸術家からみて、雪はありがたい存在ともいえる」

元気の素はまだまだ埋まっています。元気塾の名前はなくなっても、その活動は続けていかなくてはなりません。よろしくお願いします。ありがとうございました。



理事 小林 毅夫 (設立～現在)
NPO法人上越地域学校教育支援センター 理事長 (H22.6～H30.5)
NPO法人上越地域学校教育支援センター 理事 (H30.6～現在)

塾開催当日、私の役割は「受付係」が多かったのですが、その日に向けた毎月の理事会が楽しみでした。上越の「はつらつ」「元気」を求めて、異なる分野の人と議論し、一つのテーマに向かっていく過程は貴重な日々でした。

いつの時代も、常に前を向き、未来に向かって精いっぱい「元気」を生み出してきた多くの人たちがいたことを思います。そして、今も「地域を見つめ、働きかけ、切り開く」ことに熱い思いを持ち、「一歩前へ！」と歩きだしている人がいることをうれしく思います。

「元気塾」は残念ながら解散となりますが、人口減と上越のこれからを考えようとした「未来カレンダー」づくりは、コロナ後の世界を展望するという新しい要素を加えながら、様々な人に受け継がれ、新しいエネルギーを得て、求め続けられて行ってほしいと願っています。

多くの出会いに感謝し、さらなる、はつらつ・元気のエネルギーが続いていくことを期待します。



理事 石野 正彦（設立～現在）

上越教育大学 特任教授（H21.4～R1.3）

上越教育大学 教授（R1.4～R2.3）

私は、NPOになる以前の「上越はつらつ元気塾」で事務局を務めていた関係でそのまま理事になりました。

当時は、教育委員会所属で大学や地域の教育機関とを連携する仕事をしていました。その後、大学に所属を移し、同じような仕事に携わってきました。この「はつらつ元気塾」で上越の奥深い地域文化を学ぶことができ、郷土愛が強くなりました。毎年設定されるテーマで学んでいるとなにげなくいつも見ている風景や生活している環境に先人の知恵があり、郷土を築いてきた先人の取組があることに気付かされます。

学ぶことは遠くにあった他人ごとが今生きている自分ごとにつながってきます。そしてそれは今生きていることの元気にもなります。自分が今生きていることにつながる先人の営みは、これからの時代を担う者に受け継いでいかなければならない大切な文化です。今後は、「はつらつ元気塾」で学んだ豊かな地域文化をネットで発信していけたらと思っています。



理事 中條 美奈子（設立～現在）

NPO法人マミーズ・ネット 理事長

2006年の上越はつらつ元気塾実行委員会がスタートから講演会の保育ルーム設営などで協力させていただき、法人化後は理事を務めてきました。

元気塾は、まさに名前そのままに、私にとって大きな学びの場でした。その時々テーマや講師の方々からはもちろん、参加者の皆さんからも多くのことを教えていただきました。そして塾長はじめ理事の皆さんたちの考え方、生き方から触発され成長することができました。ここで出会えたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

これまでの主催事業の中で、今の上越が先人たちの努力で成り立っていると実感しました。そして、その先人たちは今を良くしていくために常に変革を求め、変化を恐れていなかったことが印象に残っています。その姿は、元気塾を開催し続けた塾長の姿にも重なって見えました。

微力ではありますが、この元気塾で学んだことを実践し、次の世代へとつなげていきたいと願っています。



理事・事務局長 野本 幸（設立～現在）
NPO法人女性みちみらい上越 理事長

「学ぶ、支える、市民力」のテーマで実行委員会が立ち上がった上越はつらつ元気塾。NPO法人へ移行する時から関わらせていただき早10年。地域に根差した2大学(上越教育大学、新潟県立看護大学)と新潟日報社、民間が連携した他に例のないNPOの誕生でした。

本誌にある通り、今日まで、上越地域の宝物探しを、細部にわたり、市民とアカデミックな目線で活動し、多くの発見と感動がありました。

印象的なのは、本業の肩書はずし、市民目線で活動に取り組む塾長の情熱と理事の皆さまの行動力です。その空間に、多くの会員・市民の皆さまの参加が、有意義な活動を生み出したのだと思います。とても幸せな時間を過ごすことができ、人生の力になりました。

関わっていただいた全ての皆さまに心から感謝いたします。



監事 渡辺佐千雄（設立～現在）
渡辺佐千雄税理士事務所 所長

設立時より監事を務めていましたが、理事会、プレゼミ、見学会、トークセッション、ウォーキングと健康づくり体験など理事、会員、一般参加者と一緒になって楽しませていただきました。中でも毎回楽しめたのはその年のテーマを決める理事会の議論でした。概ね塾長が素案を提示してくださり、そのテーマが「上越の元気の源を探る」に合ったものかどうか、具体的にプレゼミからトークセッションまでどのような内容で進めるのか、それぞれの分野で経験を積んでこられた理事のご意見をお聞きすることでした。

10年間で学んだ「上越の元気」で気づいたことは、テーマとした歴史、文化そのものよりも「上越の元気」を「元気の源」として、はつらつと活躍し次世代に繋げている地元の人たちにこそあるのではないかということです。

今後も元気を支えるひとたちが繋がっていくことを期待します。

NPO法人上越はつらつ元気塾の活動に ご協力いただいた団体・企業

■協力

NPO法人シブヤ大学
ホシノ工業株式会社
株式会社有沢製作所
ウエカツ工業株式会社
頸城自動車株式会社
NPO法人くびきのお宝残す会
中部電力(株)上越火力発電所
東北電力上越営業所
東北電力高田技術センター
農林水産省北陸農政局関川用水農業水利事業建設所
前島記念館
高田郵便局
合資会社山本味噌醸造場
食の工房ネットワーク
歴史的建造物保存修復研究室アトリエ雁木
瞽女ミュージアム高田
きものの小川
テラスカイ上越サテライトオフィス
大鋸町ますや
国土交通省高田河川国道事務所
新潟県福祉保健部健康対策課
新潟県上越地域振興局
上越市
社会福祉法人上越市社会福祉協議会
公益社団法人上越観光コンベンション協会
メディカル&ケア
NPO法人新潟県ウォーキング協会
上越歩く会
コカ・コーライーストジャパン(株)
関根学園高等学校
国立大学法人上越教育大学
新潟県立看護大学
新潟日報社
上越タイムス社

■団体・企業会員

医療法人喜修会 石田眼科
株式会社エム・コミュニケーション
頸城自動車株式会社
株式会社サトコウ
株式会社ジェーミックス
一般財団法人 上越環境科学センター
国立大学法人上越教育大学
上越ケーブルビジョン株式会社
一般財団法人 上越市環境衛生公社
社会福祉法人 上越市社会福祉協議会
社団法人 上越福祉会
新潟日報社
三井企画株式会社
(株)カンエーハウジング
(有)上越ニックサービス
(株)桐朋

(順不同、敬称略)